

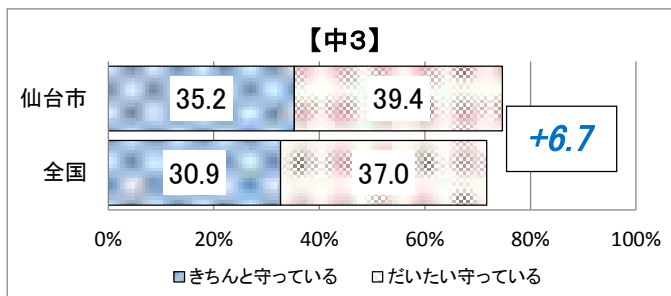
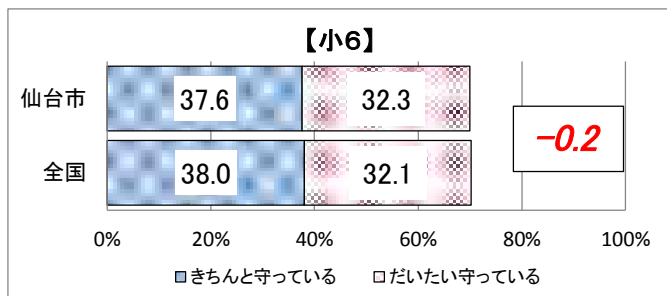
児童生徒質問紙調査の分析結果

【分析結果 1】

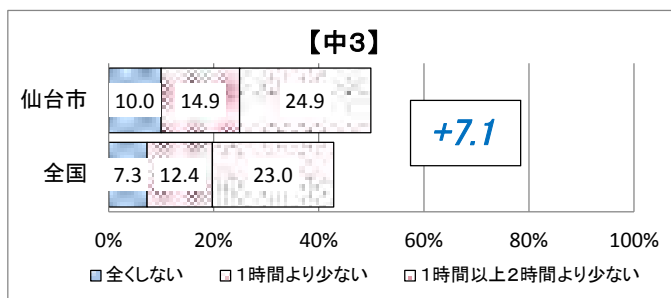
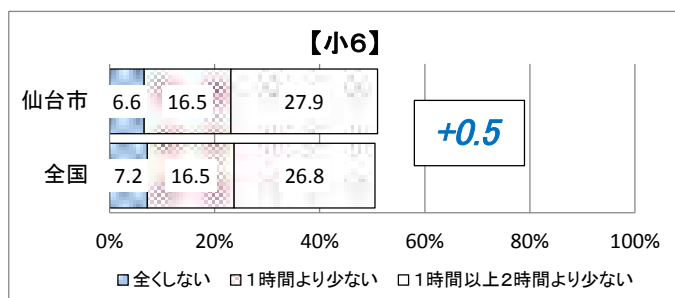
「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童生徒の割合は、小中学生とも、全国と同等かやや上回っており、規則正しい生活習慣が概ね身に付いているものと思われる。

「携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている」と回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等、中学生は全国をやや上回っている。また、「普段、1日どれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をするか」という質問では、小学生は全国と同等、中学生は全国より少ない結果であった。

4. 携帯電話、スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている



5. 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をするか (グラフは2時間より少ない割合で比較)



□今後に向けて

スマートフォンなどの機器の使い方やゲームの利用時間等については、仙台市生活・学習状況調査の分析に基づいて、各学校で継続して指導、啓発に努めてきた成果が表れてきたものと思われます。今後も、「学習意欲」の科学研究に関するプロジェクトのリーフレットを活用しながら、継続して啓発に取り組んでいただきたいと思います。

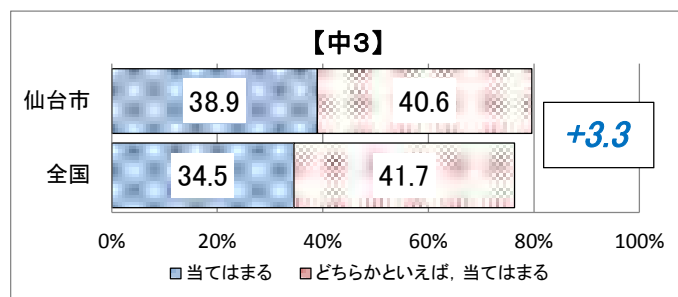
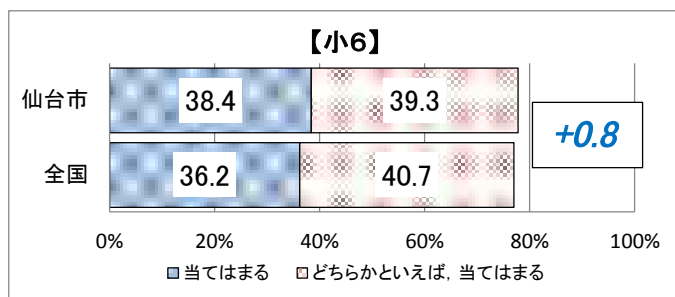
【分析結果 2】

自己肯定感に関する項目「自分には、よいところがあると思う」という質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等であり、中学生は全国をやや上回っている。

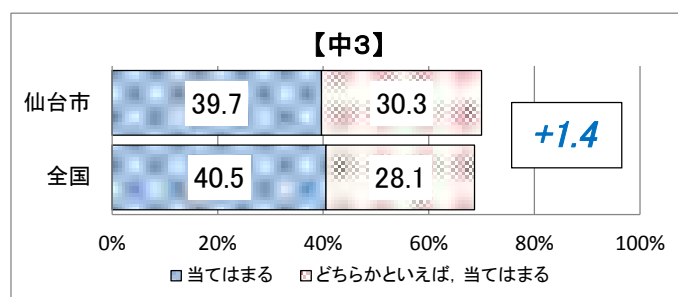
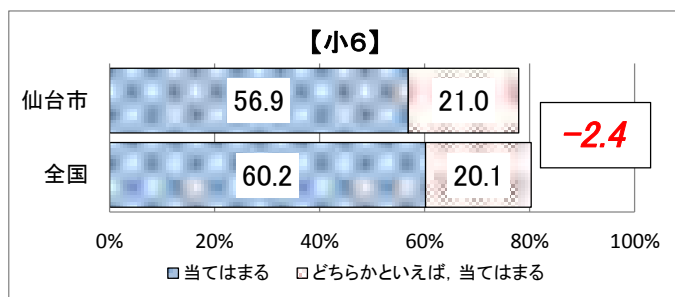
「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、小学生は全国をやや下回り、中学生は全国と同等となっている。

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等、中学生は全国をやや上回っている。

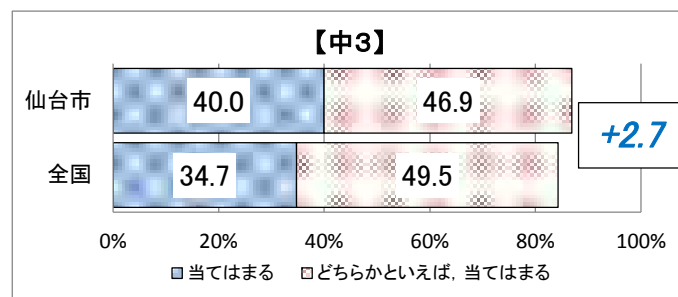
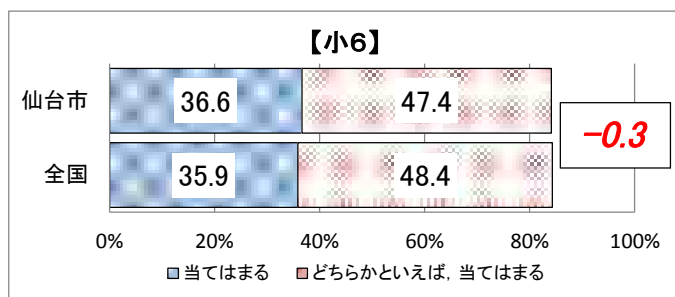
6. 自分には、よいところがあると思う



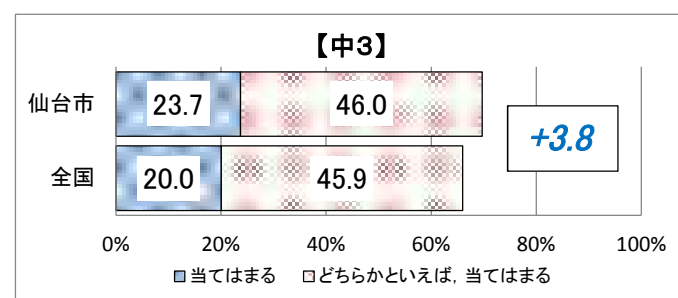
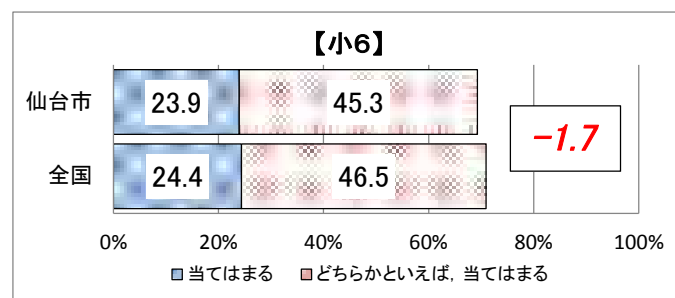
7. 将来の夢や目標を持っている



8. 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている



9. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している



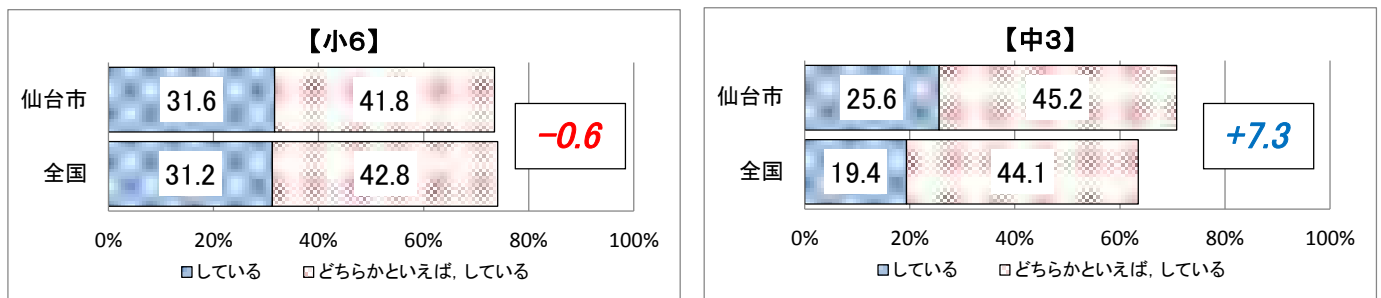
□今後に向けて

自己肯定感、将来への夢や目標、挑戦心については、今後も注目してほしい項目です。小学校から中学校までの仙台自分づくり教育によって、中学校3年生では、全国をやや上回る結果となっているものの、将来への展望については例年低い傾向が続いています。仙台市生活・学習状況調査と併せて分析を進め、各校で、自己肯定感や将来への展望、挑戦心を高めていくための指導工夫をお願いします。「たくましく生きる力育成プログラム授業プラン集」の活用を各学校の自分づくり教育年間指導計画に位置付け、自分自身のよさ等を振り返ることで、自分を受け入れられるように、自己受容も併せて育てていくようお願いします。

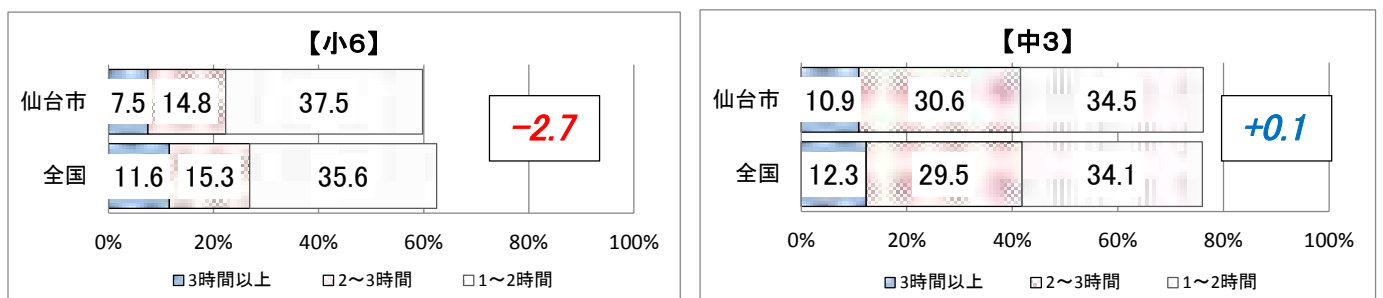
【分析結果3】

家庭学習への取組時間は、小中学生とも、全国と同等となっているが、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童生徒は、小学生は全国と同等、中学生は全国を上回っている。
1日当たりの読書量について、小学生は全国と同等、中学生は全国より下回っている。

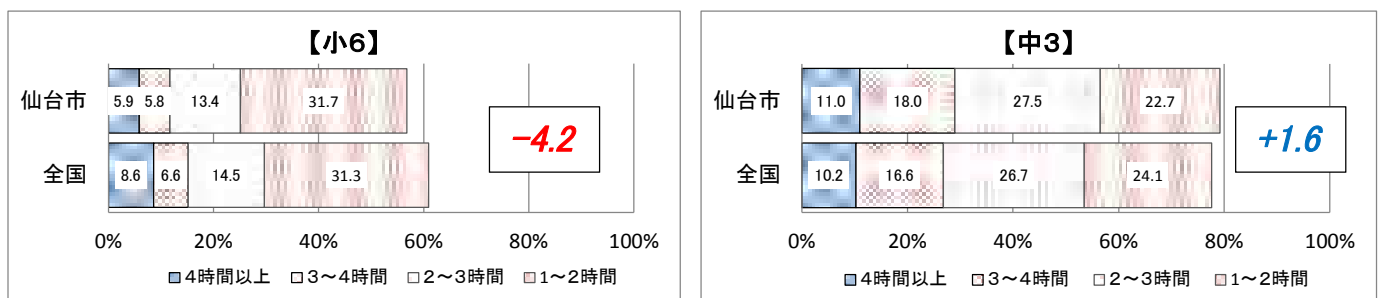
17. 家で自分で計画を立てて勉強している



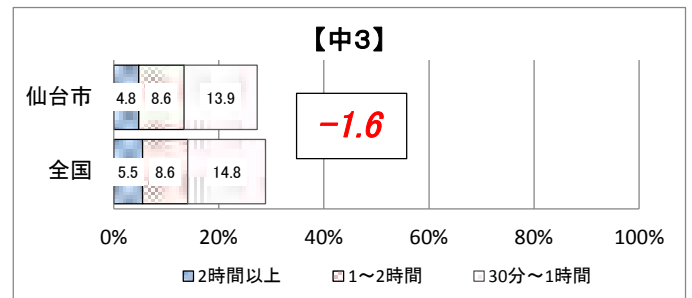
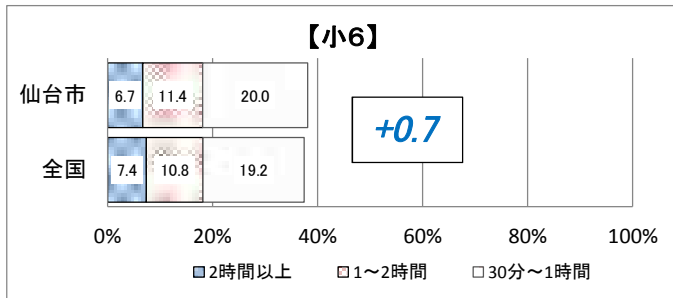
18. 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強するか (1時間以上)



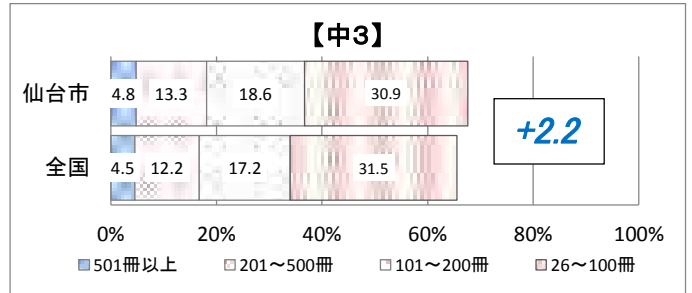
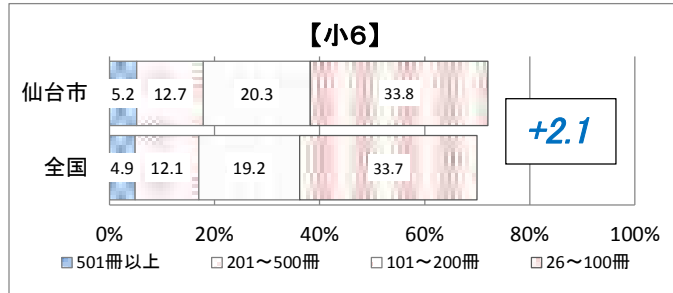
19. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強するか (1時間以上)



2 1. 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をするか



2 2. あなたの家には、およそどれくらいの本があるか



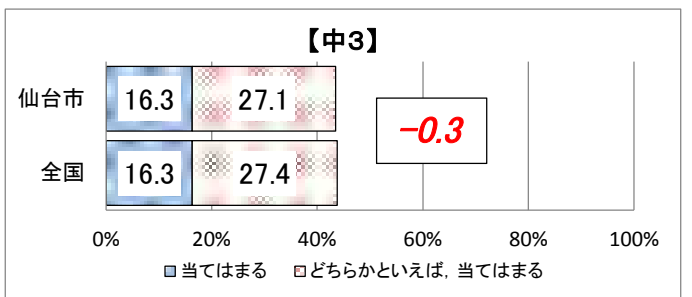
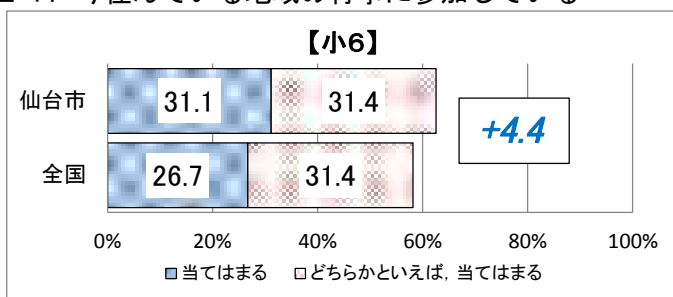
□今後に向けて

仙台市標準学力検査、仙台市生活・学習状況調査における分析結果から、短い時間であっても、読書の習慣は学力により影響があることが分かっています（令和2年度「学習意欲」の科学研究に関するプロジェクトリーフレット参照）。家庭学習の習慣とともに、読書の習慣を身に付けるよう啓発に努めていただきたいと思います。

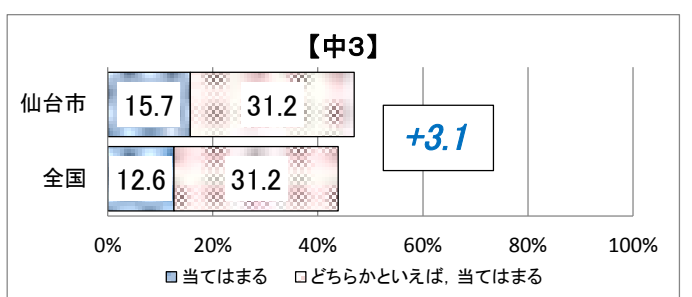
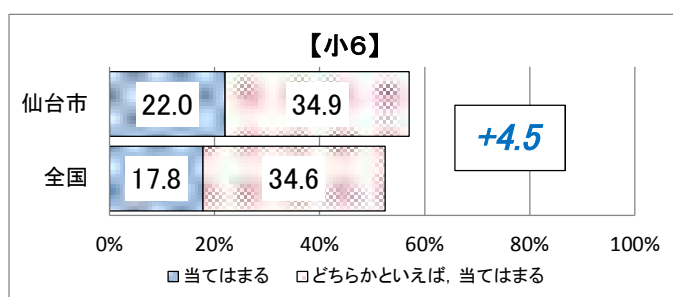
【分析結果 4】

「地域との関わり」に関する項目において、地域行事の参加については、昨年度よりも下回っているが、全国と比べると、小学生は上回り、中学生は同等となっている。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」と回答した児童生徒の割合は、小中学生ともに、全国を上回り、地域への関心が高まっている。

2 4. 今住んでいる地域の行事に参加している



2 5. 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



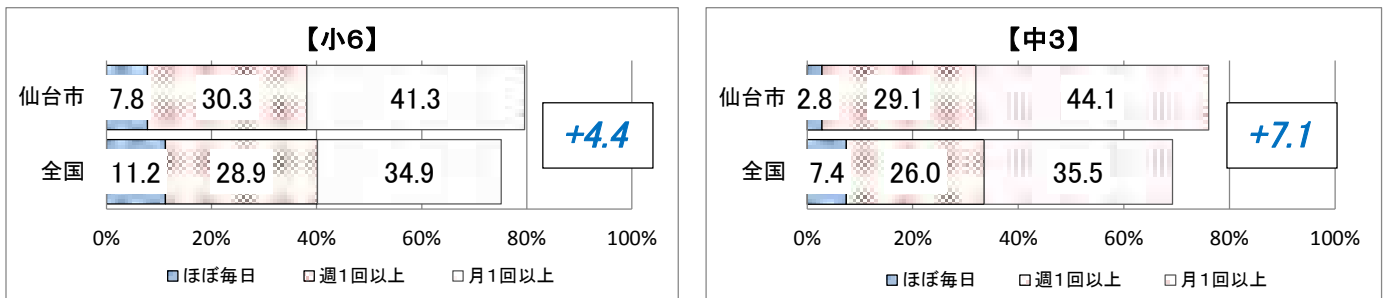
□今後に向けて

仙台市では、令和4年度中に、全市立学校でのコミュニティ・スクール導入を目指しています。今後、学校と地域の、双方向の「連携・協働」できる体制づくりが進むことが期待できることから、さらに児童生徒の「地域への関心」を、教育活動に生かす取組を継続してお願いいたします。

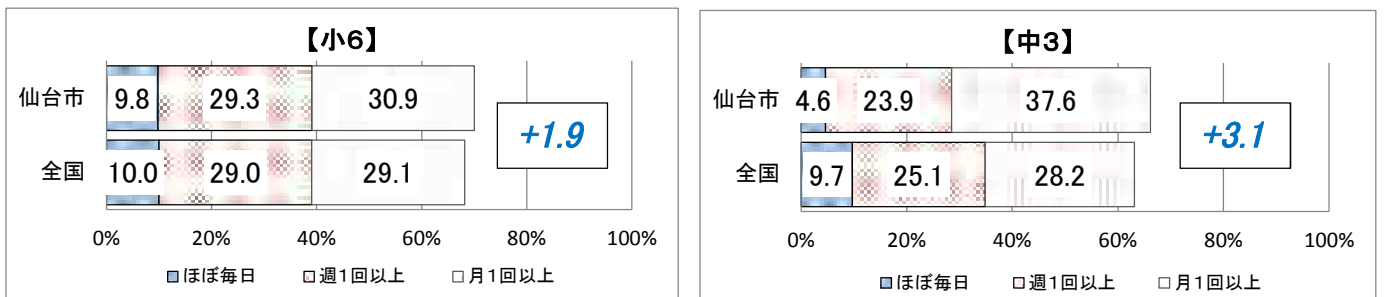
【分析結果5】

授業等での、ICT機器の使用頻度について、週1回以上と答えた割合は、小中学生ともに全国と同等である。

26. 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使ったか



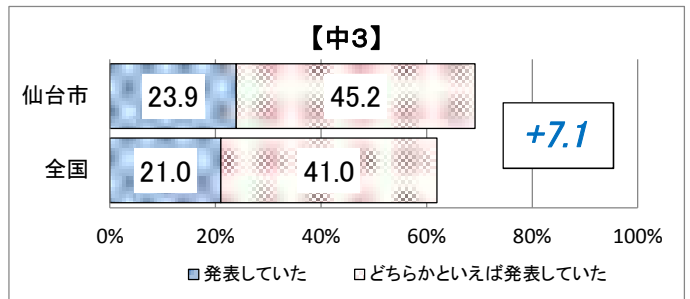
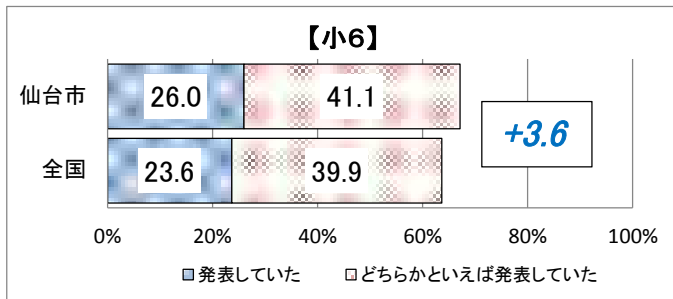
27. あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達(生徒)と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用しているか



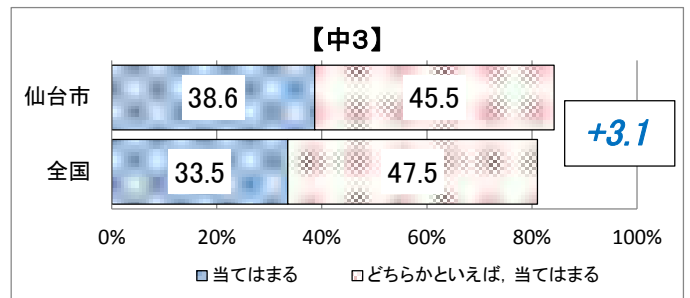
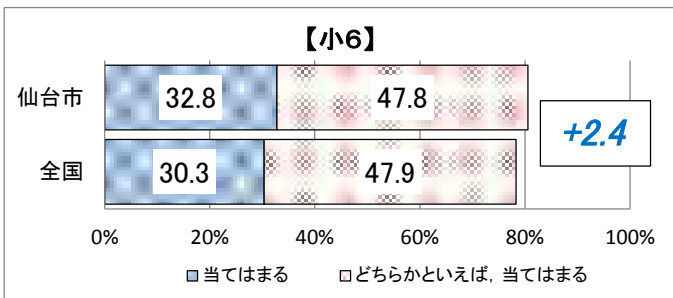
【分析結果6】

「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか」に肯定的に回答した割合は、令和元年度より増え、全国より上回っている。授業での言語活動が、児童生徒の実感を伴って充実している様子が見られる。

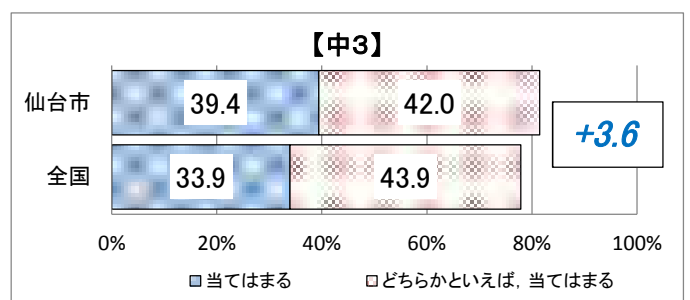
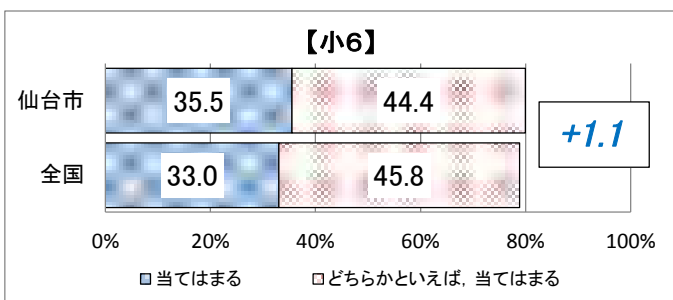
32. 5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた



33. 5年生までに（1，2年生のときに）受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



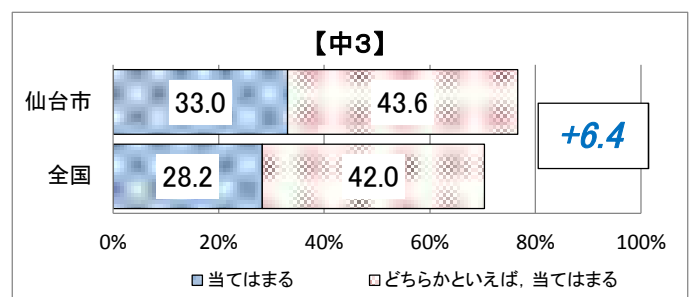
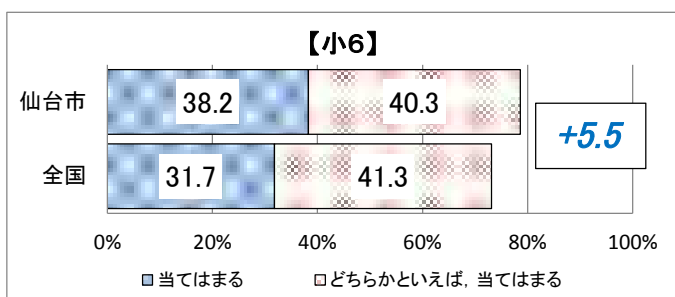
37. 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる



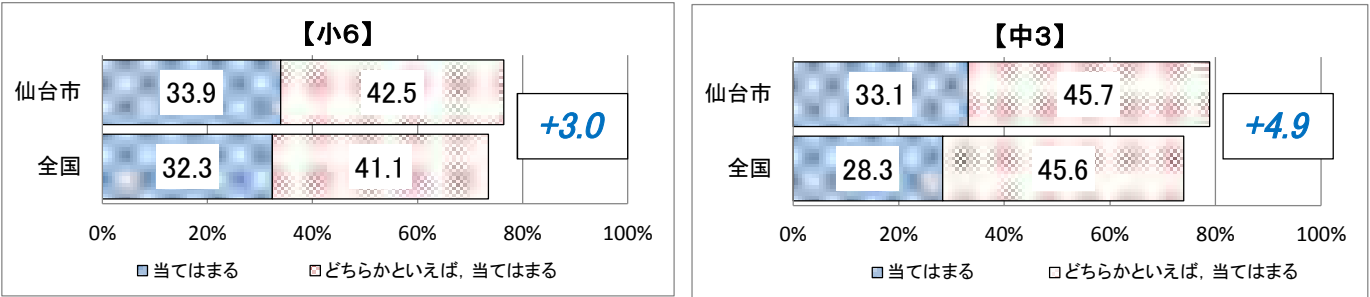
【分析結果7】

総合的な学習の時間で、「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだか」、学級会(学級活動)で、「話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか」に肯定的に回答した割合は、小中学生ともに全国より上回っている。

39. 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいた



40. あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている

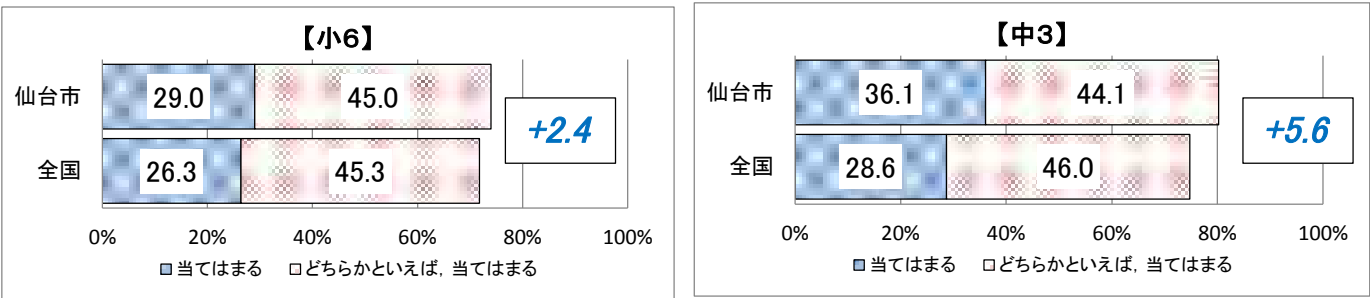


【分析結果8】

国語では、自分の考えを持ち、その根拠を明確にして書いたり、表現を工夫して書いたり、目的に応じて文章を読み、考えを広げたりしていることに肯定的に回答した割合が、小・中学生ともに、全国をやや上回っている。

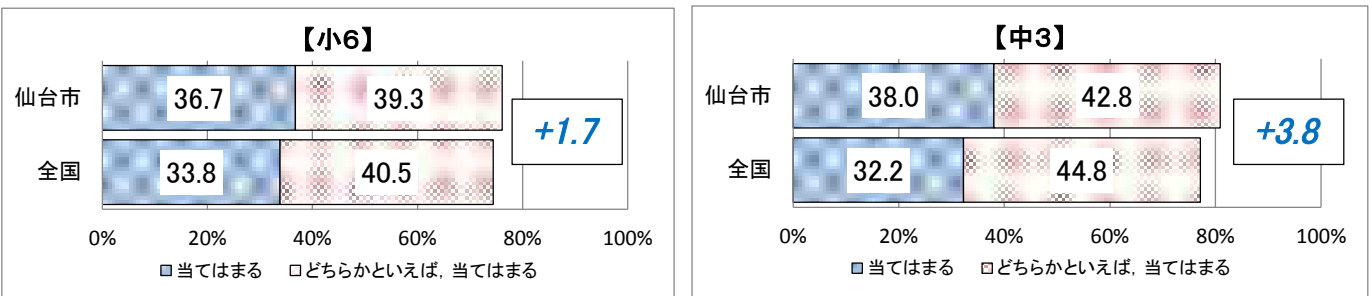
49. (小学校) 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている

(中学校) 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしている



50. (小学校) 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えを持ったり自分の考えを広げたりしている

(中学校) 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしている



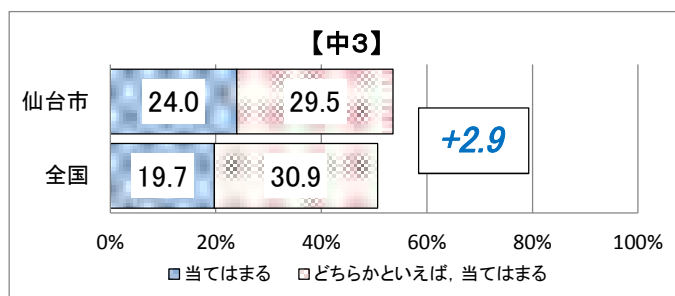
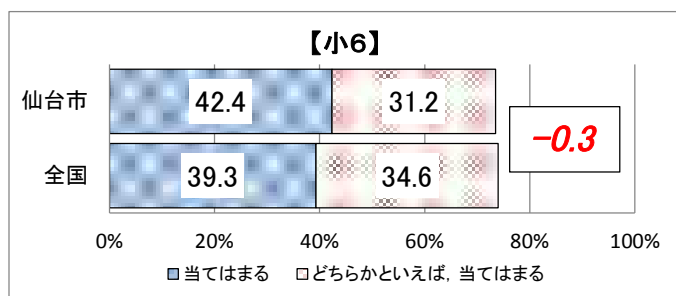
□今後に向けて

各校での「対話的で、深い学びにつながる授業改善」への取組によって、児童生徒が、目的に応じて自分の考えを明確に持って授業に臨むことができていると思われます。その反面、学力調査の問題では無解答率が高い設問がありました。各学校での分析を基に、今後の課題改善にしっかりと取り組んでいただきたいと思います。

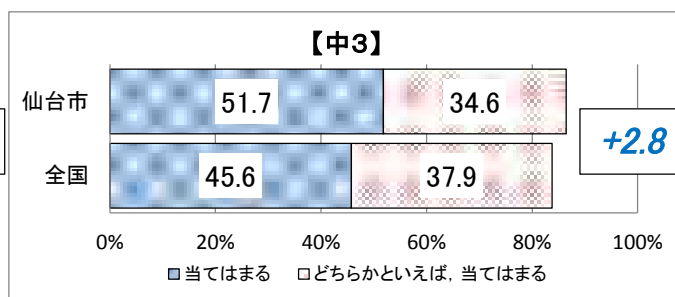
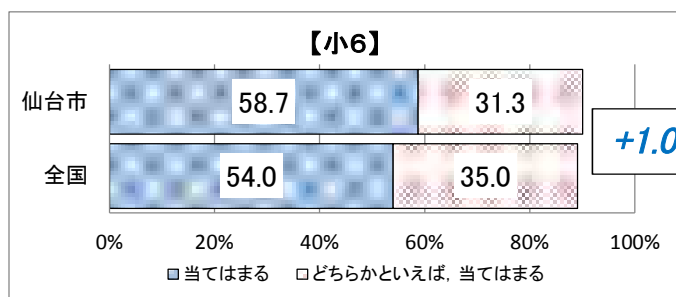
【分析結果 9】

算数・数学では、「授業で学習したことは、普段の生活の中で活用できないか考える」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等、中学生は全国よりやや上回る。また、「授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等、中学生は全国よりやや上回る。

56. 算数・数学の授業で学習したことは、普段の生活の中で活用できないか考える



58. 算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている



□今後に向けて

身の回りの生活の中に、算数・数学が活用できる場面がたくさんあることに触れることで、学習意欲の向上にもつながってきます。今後も、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善への取組を継続して進めていただきたいと思います。

【分析結果 10】

英語では、「授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学生は全国と同等、中学生は全国よりやや上回る。

62. (小学校) 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている

(中学校) 1, 2年生の時に受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができている

